

保護者各位

認定こども園のぶ幼稚園
園長 福武 智行

感染症による対応について

日頃より保護者の皆様におかれましては園児の健康管理にご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、幼稚園では多くの幼児が長時間に渡り集団生活をしております。これらの幼児は種々の伝染病に対し、免疫を持たない感受性集団（伝染病に対して感染しやすい状態の人がたくさんいる集団）です。

また、幼児は感染すると重症化する場合も少なくありません。

つきましては、本園では集団感染の発症を出来る限り防ぐ為、感染後の登園については主治医の診断による証明により登園とさせていただきますので何卒ご理解の上ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※治癒後でもお子様が快適に集団生活ができるよう、園生活が可能な状態と判断されてから登園くださいますようお願い申し上げます。

「感染症対策ガイドライン」（平成24年11月付）に記載のある感染症の種類

| | |
|--------------|--|
| 第一種 | エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト マールブルグ病、ラッサ熱、重症急性呼吸器症候群、急性灰白髄炎 ジフテリア、鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等感染症 指定感染症、新感染症 |
| 第二種 | インフルエンザ（鳥インフルエンザを除く）、百日咳、麻疹、結核 水痘（みずぼうそう）、髄膜炎菌性髄膜炎、咽頭結膜熱（プール熱） 風しん、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） |
| 第三種 | コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス 流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎 |
| 第三種 (その他) | 溶連菌感染症、ウイルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑（りんご病） マイコプラズマ感染症、単純ヘルペス感染症、水いぼ（伝染性軟疣腫） 伝染性膿痂疹（とびひ）、ヘルパンギーナ、アタマジラミ、帯状疱疹 急性細気管支炎（RSウイルス感染症）、突発性発しん 感染性胃腸炎（ノロウイルス・ロタウイルス・アデノウイルス） |

※医師による証明書・許可書は、別紙1（表・裏）を参照し、園に提出してください。

尚、証明書・許可書は幼稚園にあります。